

教育だより

第178号

平成29年(2017年)1月31日
練馬区教育委員会
練馬区豊玉北 6-12-1
☎3993-1111
<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/kyoikulink.html>

学校教育 支援センター 大泉

～1月10日(火)に学校教育支援センターの分室として、
学校教育支援センター大泉が開設しました。～



お子さんの不登校やいじめ、教育上の心配ごとや保護者のさまざまな悩みに対し、教育・心理・医療の専門スタッフが相談に応じます(要予約)。電話相談もできます。

対象：幼児・児童・生徒とその保護者の方々。

受付時間：月～土曜 午前9時～午後5時
(金曜は午後6時まで。祝休日・年末年始を除く)

場所：東大泉3-18-9 ☎：6385-4681

教育相談は区内4か所で受け付けています

お住まいの地域に関わらずどこでもご相談いただけます。

練馬区立 学校教育 支援センター	光が丘	……03-5998-0091
	練馬	……03-3991-3666
	関	……03-3928-7200
	大泉	……03-6385-4681

【問合せ】学校教育支援センター〔電話 6385-9911〕

子供相談カードを配布しました



区内4か所になった教育相談室の『相談窓口電話番号』と新規の『いじめ相談メール』を周知するため、区立小中学校に通うすべての児童・生徒を対象に配布しました。

【問合せ】学校教育支援センター〔電話 6385-9911〕

平成28年度 練馬区教育委員会児童・生徒表彰

練馬区教育委員会では、さまざまな活動の場において一生懸命努力している子供たちを応援するため、児童・生徒表彰を行っています。平成28年度の表彰式は、1月17日(火)に生涯学習センターで行われ、スポーツ・文化芸術などで活躍した、個人194名と団体7組を表彰しました。

個人の部

(敬称略)

学校名	氏名	表彰内容
豊玉小学校	新海 姫那	よさこい演武
	田中 一真	ポスター
	石井 めぐみ	ピアノ
中村小学校	畠山 裕登	珠算
	浅倉 龍風	空手
早宮小学校	高田 琉也	レスリング
	宮川 虎太郎	空手
開進第一小学校	余越 波弥	軟式野球
	荻原 慧	軟式野球
	吉岡 昶彰	軟式野球
	宮崎 昭彦	軟式野球
	向田 将人	軟式野球
	雨宮 太一	軟式野球
	田中 勇伍	軟式野球
	渡部 光汰	軟式野球
	丸山 拓海	軟式野球
	柳澤 光渚	チアダンス
開進第三小学校	中村 文	空手
開進第四小学校	関口 芽生	チアダンス
北町小学校	佐藤 亜美	チアダンス
北町西小学校	鈴木 香凛	水泳
練馬第二小学校	三宅 一颯	空手
練馬第三小学校	額賀 結凜	ピアノ
向山小学校	嶋島 煌斗	フライングフットボール
	永吉 咲良	水泳
高松小学校	大槻 凜	ピアノ
	大岩 真海羽	水泳
光が丘四季の香小学校	秋山 真輝	サッカー
光が丘春の風小学校	梅村 達哉	珠算
光が丘秋の陽小学校	星 拓海	空手
石神井台小学校	遠藤 颯	水泳
上石神井小学校	伊藤 彩音	水泳
上石神井北小学校	佐久間 洸	空手
	小林 夢果	書道
下石神井小学校	佐伯 雪乃	新体操
光和小学校	林 歩佳	空手
谷原小学校	関 笙乃	なぎなた
	相澤 友輝	軟式野球
	堺田 光	軟式野球
	吉田 史恩	軟式野球
	三笠 大輔	軟式野球
	三枝 昊平	軟式野球
	細田 歩夢	軟式野球
	井上 結人	軟式野球
	浅見 宗佑	軟式野球
	萩原 隼	軟式野球
齋藤 志緒	空手	
	岡野 るか	ピアノ
北原小学校	土岐 蒼太郎	軟式野球
	中藤 将人	軟式野球
	早川 航生	軟式野球
	佐藤 漣	軟式野球
	神崎 翔	軟式野球
	神崎 順	軟式野球
	一之瀬 駿希	軟式野球
	木村 颯人	軟式野球
	尾崎 祥之介	軟式野球
	山口 秀将	軟式野球
荻野 友大	軟式野球	
	大森 翔天	珠算
関町小学校	吉田 樹	空手
関町北小学校	藪部 雄望	フライングフットボール
大泉第一小学校	任 梓豪	空手
	久保田 歩	空手
大泉第三小学校	二木 遥菜	陸上
	高木 陽	陸上
	板垣 こころ	水泳
	松井 廉	サッカー
	白旗 啓士朗	サッカー
	津藤 亮哉	サッカー

学校名	氏名	表彰内容
大泉第六小学校	柴田 航希	空手
	岩西 真那	バドミントン
	古本 追風	サッカー
大泉東小学校	白田 遥大	サッカー
大泉南小学校	井 龍馬	陸上
大泉北小学校	グリーンノフ 海	サッカー
	藤井 勘研	サッカー
	加藤 由紀彦	サッカー
	石井 充生	サッカー
	岩間 虹大	サッカー
大泉学園小学校	上野 凌空	サッカー
	近藤 壮	サッカー
	榊原 愛都	サッカー
	相馬 拓海	サッカー
	中村 應斗	サッカー
	坂東 悠	サッカー
大泉学園緑小学校	山本 湊	空手
南が丘小学校	松浦 旬祐	柔道
	前 咲耶	フィギュアスケート
富士見台小学校	落石 晃	柔道
八坂小学校	清水 蔵之介	ゴルフ
	赤坂 聖弥	サッカー
中村中学校	岡本 卓杜	ラグビー
	渡部 創太郎	ラグビー
	今江 康介	硬式野球
	浅倉 穂鷹	空手
	的場 利実	新体操
開進第一中学校	高橋 美月	陸上
	飯塚 翼	空手
開進第二中学校	橘内 誠吾	ボウリング
	大矢 胡香	技術家庭
	嶋島 悠斗	フライングフットボール
	三日月 優花	新体操
	大庭 龍華	空手
開進第四中学校	山田 麗音	ダンス
	高波 政斗	空手
北町中学校	田倉 宏之助	硬式野球
	中川 結衣	陸上
練馬中学校	鈴木 響	陸上
	米田 成大	硬式野球
練馬東中学校	新里 秀斗	ラグビー
	藤山 威菜里	シンクロ
眞井中学校	木下 優成	硬式野球
	中島 潤一郎	ラグビー
田柄中学校	渡邊 日菜	ラグビー
	東後 優奈	水泳
豊浜中学校	田中 陽菜	水泳
	山本 侑奈	水泳
光が丘第二中学校	笠井 桜李	水泳
	牧田 陸	硬式野球
光が丘第四中学校	竹葉 智子	水泳
	宮澤 まこ	水泳
石神井中学校	川井 凜	水泳
	小村 明花	管打楽器
大泉桜学園	熊倉 幹太	硬式野球
	染谷 駿斗	硬式野球
大泉中学校	五十嵐 美結	ソフトテニス
	辻 愛	ソフトテニス
大泉北中学校	山上 大輝	空手
	豊田 秀真	トランポリン
大泉中学校	福田 大河	陸上
	倉迫 尚輝	書道
大泉中学校	橋本 琴葉	新体操
	山地 拓真	ラグビー

学校名	氏名	表彰内容
石神井東中学校	野原 天虎	柔道
	相原 綾介	テニス
	松崎 要喬	テニス
石神井西中学校	柴崎 充志	テニス
	真庭 椋	テニス
	吉岡 桜子	卓球
石神井南中学校	榊 和真	ラグビー
	新井 彩夏	新体操
上石神井中学校	関口 聡志	サッカー
	田中 大誠	ラグビー
	田中 創太郎	ラグビー
谷原中学校	長岡 桜子	体操
	大藤 式至翔	ラグビー
	石塚 勝己	ラグビー
	峯張 美咲	スノーボード
	植田 陽翔	陸上
三原台中学校	高橋 慶	陸上
	川端 康輔	陸上
	吉田 順哉	陸上
	浦田 純也	陸上
	井上 翼	陸上
大泉中学校	安齊 大志	陸上
	松田 和香	陸上
	宮 博十	陸上
	森田 大毅	陸上
	齋藤 彩紋	体操
大泉第二中学校	岡本 楓加	ピアノ
	益子 芽里	陸上
	藤井 乙葉	水泳
	藤崎 敦也	水泳
	吉永 秀之	硬式野球
大泉北中学校	藤原 瑠那	陸上
	森 琴羽	新体操
	光田 晴裕	少林寺拳法
	村越 風斗	陸上
	本間 一太	ゴルフ
大泉学園中学校	片山 あやめ	陸上
	大口 真奈	体操
	鈴木 蒼大	トランポリン
	高山 愛斗	柔道
	佐々木 洋太郎	空手
関中学校	岡部 怜南	かるた
	中田 温大	サッカー
	鈴江 貴太	柔道
	中駄 結花	新体操
	伊藤 直也	水泳
八坂中学校	下方 勇輝	水泳
	小池 俊甫	水泳
	山野 裕輝	水泳
	木村 佑	水泳
	土屋 菜々	水泳
大泉中学校	有田 慎之介	硬式野球
	原田 光	剣道
	吉村 拓真	空手
	風間 奏音	エレクトーン
	末森 遥来	サッカー
大泉中学校	富山 礼寧	水泳
	大草 かれん	体操

団体の部

学校名	団体名
眞井中学校	演劇部 男子柔道部
田柄中学校	吹奏楽部
光が丘第二中学校	女子ソフトテニス部
石神井東中学校	男子硬式テニス部
三原台中学校	サッカー部
関中学校	剣道部

【問合せ】教育総務課 庶務係〔電話 5984-5609〕

練馬区いじめ等対応支援チームの取組について

いじめの早期発見・早期対応・早期解決には、学校・保護者・地域の皆様が共通認識をもち、一丸となって取り組むことが重要です。

練馬区では、こうした方々に協力を依頼し、平成24年度よりいじめ等対応支援チームを設置しています。平成28年度はすでに2回の会議を行い、次の内容について協議しました。

- (1) 練馬区におけるいじめの状況と対応
- (2) 保護者・地域と連携したいじめ防止の取組の推進に向けて



この2点をテーマに取り上げ、有識者の助言の下、校長、教員、PTAの代表者、心理士等がそれぞれの立場からアイデアを出し合いました。校外におけるいじめの発見や未然防止のための工夫、地域から学校への情報伝達の促進、学校と家庭と地域が連携した児童生徒の健全育成活動の活性化等様々な視点でいじめ問題の解決に向けた取組が検討されました。協議の内容は「いじめ等対応支援チームからの提言」として情報発信していきます。

【問合せ】教育指導課 指導主事〔電話 5984-5759〕

地域の方で学校の教育活動を充実させるために

平成28年度から「練馬区学校・地域連携事業」を開始しました



学校・地域連携事業は、学校の教育活動に地域住民、保護者、NPO等の多様な人材を活用し、その充実・拡大を目指すものです。平成28年度は、区立小中学校28校を推進校に指定し、本事業を実施しています（推進校は今後拡大する計画です）。

推進校には、地域と学校の橋渡し役として「学校支援コーディネーター」を配置しています。学校支援コーディネーターは、学校のニーズに応じて、地域の方への協力依頼や協力時のサポート等を行います。

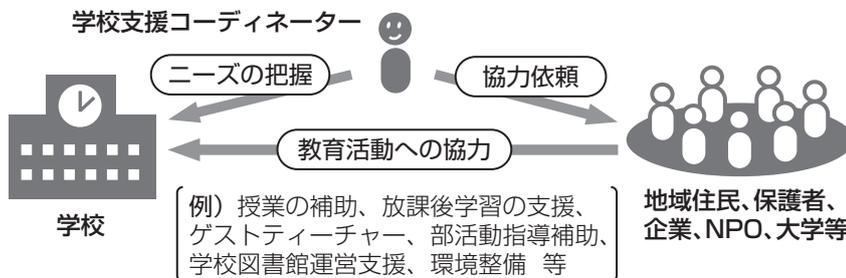


学校図書館運営ボランティア



ゲストティーチャー

学校では、地域の方が様々な分野で活躍されています



【問合せ】教育指導課 管理係〔電話 5984-5746〕

第35回練馬区学校保健大会を開催

12月8日（木）に練馬文化センターで、保護者、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、区立学校教員など約460人が参加して、「練馬区学校保健大会」を開催しました。

大会では、小学校体育主任部会の先生方が、「小学校の体育学習と、体力を高める運動の指導について」および「小学校体育部会の活動報告について」をテーマに研究発表を行いました。

また、「子どもが軽やかに伸びるパラダイムシフト・コーチング」をテーマに、岸事務所代表の岸英光先生による特別講演もありました。

練馬区学校保健大会は、今年で35回を迎えることが出来ました。これからも、学校保健の関係者が一堂に会するこうした機会を通じ、学校保健の今日的課題について共通理解を深めることで、学校保健のより一層の充実向上を図っていききたいと思います。



【問合せ】教育総務課 学校保健係〔電話 5984-5729〕

平成28年度 練馬区立学校の研究発表

教育委員会では、区立幼稚園、小中学校、小中一貫教育校の中から毎年15校（園）程度を「教育課題研究指定校」として指定し、幼児・児童・生徒の学力や体力の向上、心の教育の充実などの教育課題に関する研究を支援しています。今年度の指定校13校の中から、すでに研究発表会を実施した4校の取組を紹介します。

石神井小学校（11月4日（金）発表）

互いに関わり合い進んで運動する子の育成

石神井小学校では、子供が仲よく、楽しく運動に親しむために、どの子も楽しめる運動の行い方やコート of の広さなどを工夫して体育の授業を展開しました。

1時間の授業の中で、子供たちが主体的に運動に取り組む時間を確保するとともに、「何ができるようになるのか」学習のねらいを明確にして、児童がその時間の内容を確実に身に付ける指導を行いました。

● 本研究を通して、「運動ができない」、「学習の仕方が分からない」との思いを抱く児童が半減するなどの成果が見られました。



（2年：体育 鬼遊びの様子）

練馬小学校（11月18日（金）発表）

自分の思いを豊かに書く児童の育成 －相手意識・目的意識を明確にして－

練馬小学校では、国語科の「書くこと」の指導方法を研究しました。誰に向けて書くのか、何のために書くのかを児童が意識できるように、指導内容について理解を深め、児童の実態に即した教材の開発に取り組んできました。また、朝学習の時間にテーマに沿った短文を書く「書きたいむ」の時間を設定し、継続した指導を行いました。

● 本研究を通して、児童から「早く書きたい」という声があがるようになり、意欲を高めることができました。また、相手や目的に合った書き方ができるようになり、表現を工夫しながら豊かに書く力が付いてきました。



（1年：国語の授業の様子）

練馬東小学校（12月2日（金）発表）

かかわりを通して、ともに豊かに生きようとする 子供の育成 －道徳教育の充実を目指して－

練馬東小学校では、道徳教育の要となる「道徳の時間」の充実を研究の柱に据え、教師一人一人の指導観を大切に、授業づくりに取り組んできました。また、「思いやり」「規則の尊重」「生命尊重」の3つを指導の重点項目として掲げ、全教育活動を通して児童の心を育んできました。

● 2年間研究に取り組んだ結果、自分のよさに気付く児童が増えました。また、他人に進んで親切にしようとする姿が様々な場面で見られるようになりました。



（4年：道徳の時間の様子）

北町小学校（12月9日（金）発表）

望ましい人間関係を形成し、児童の自己肯定感を 高める指導の工夫 －学級活動の指導を通して－

北町小学校では、学級活動を研究の窓口として、児童の自己肯定感を高める指導を行ってきました。学級会の話し合いでは、多数決で物事を決めることなく、少数意見であっても相手を思いやり、よいところを受け入れたり、生かしたりしています。また、「計画」「話し合い」「実践」という一連の流れを大切に指導にあたっています。

● 研究を通して、「自分には、よいところがあると思う」と答えた児童が68%から85%に増えるなど、自己肯定感が高まりました。



（4年：学級活動の様子）

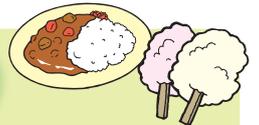
【問合せ】教育指導課 指導主事〔電話 5984-5759〕

学校応援団の紹介 No.22

「学校応援団」は、地域の方々による「ひろば事業」「開放事業」を通じて放課後の児童の見守りを行っています。今回は2つの学校応援団をご紹介します。



富士見台小学校応援団まつり



10月1日(土)に開催された応援団まつりは、448人が参加し、これまでで一番多い参加人数となりました。毎年大人気の綿菓子には今年も長蛇の列ができました。また、ペットボトルと風船で作る空気鉄砲や自分で色をつけたイラストで作る缶バッチなどの工作、スポーツ団体による複数のスポーツコーナー、スーパーボールすくいなどのゲームコーナーが設けられました。射的のコーナーでは標的をプラレールの電車に乗せて走らせ「動く標的」を作るなど、工夫をこらしていました。富士見台小避難拠点運営連絡会も協力し、最後には備蓄物資の灯油バーナーで温めたレトルトカレーとアルファ化米がふるまわれました。



今年も大人気!!



動いとると難しいな~



カレー美味しそうだな~!



大泉西小学校応援団まつり



10月22日(土)に応援団まつり・葉かげのつどいが開催されました。「みんなでつなごう手と心」をテーマに掲げ、地域の様々な団体の協力を頂きました。ひろば室では、普段から月に1回程度協力してくれている大学生ボランティアが、まつりにも工作指導の手伝いに来てくれて、子供たちも嬉しそうでした。また、校庭・体育館開放の団体によるスポーツコーナー、図書館開放室では劇団による人形劇、青少年委員・地区委員によるゲームコーナー、近隣の特別養護老人ホームによる介護体験、父母会の協力による焼きそばや綿菓子、地域の団体による八丈太鼓体験などで盛り上がりました。最後は、全体で学校伝統の「大西音頭」を踊りました。



お姉さん教えてー!!



いっぱい釣れたよ!



どうやって叩くの~?

【問合せ】子育て支援課 学校応援団・開放係〔電話 5984-1057〕



青少年育成地区委員会の紹介



区内には17の地区委員会があり、青少年育成地区委員が子供たちのために地域の特色を生かした行事や良好な社会環境づくりを行っています。今回は、第二地区委員会(早宮、平和台、氷川台、錦地域)の「第二地区祭 子どもまつり」について紹介します。

毎年10月に地域の町会・自治会と合同で行っている第二地区祭で、私たち青少年育成第二地区委員会は「子どもまつり」を担当しています。「宝さがし」「こども相撲」「綱引き」などのアトラクションに加え、練馬工業高等学校自動車部が自主制作した電気機関車が開進第一小学校の校庭を駆け巡り、子供たちの笑顔を運んでくれています。的当て・ヨーヨー・似顔絵などの「遊びコーナー」には、今年から「忍者吹矢コーナー」を設けました。育成委員が扮する忍者のお頭とともに、「くのー」の衣装をつけた開進第一中学校のボランティアが、子供たちの好奇心と笑顔を引き出しました。

第二地区祭は、地域の方々と子供たちを結ぶ、大切な架け橋となっています。

【問合せ】青少年課 青少年係〔電話 5984-4691〕



保育園の職員が地域の親子を支援しています

石神井台保育園



石神井台保育園では、地域の乳幼児の親子を対象とした子育て支援の取組を「うさちゃんクラブ」と名付け、様々な活動を行っています。

その中の一つに10年以上継続している催し物があります。併設されている石神井台児童館へ、看護師、栄養士、保育士が出向き、乳幼児を育てる保護者へ保健指導や栄養指導、子育て相談などを行います。年に2回開催しており、今年度は11月に実施しました。1回目は、「冬健康と誤飲対応」をテーマに看護師が講演し、冬にかかりやすい感染症についての注意喚起やダミー人

形を使った異物除去の方法を実演しました。お子さんには、身体計測も行いました。2回目は、栄養士が講演し、「手軽にできるおやつレシピ」の実演と「体調が悪い時の食事配慮」について紹介しました。イベントには、保育士も参加し、保育園で人気のふれあい遊びや手作りおもちゃを紹介します。

参加者から「とても参考になった」「おうちでもやってみよう」といった感想を頂き、大好評で和やかなひと時となりました。帰りがけに保育園を見学される保護者の方もいて、保育園のPRにも繋がっています。

今後も、「地域の子供を守る・育てる」意識が地域全体に根付くよう、関係機関と連携を深めながら、子育て支援の中心的役割を保育園が担っていかれたらと思っています。



【問合せ】 保育課 管理係〔電話 5984-5839〕

平成29年度ジュニアリーダー養成講習会の受講生を募集します

小学5・6年生と中学生を対象に、仲間作りのリーダーとして役立つよう、グループ活動の楽しさやルール、レクリエーション活動の技術や知識などを体験しながら学ぶジュニアリーダー養成講習会（年9・10回）の受講生を募集します。運営・指導は練馬区青少年委員会と、ジュニアリーダー養成講習会を修了した高校生以上の青年リーダーが行います。受講後は、地域のボランティア活動などにも参加しています。

詳しくは、区立小中学校で配布する募集案内または区ホームページをご覧ください。2月17日（金）（消印有効）までにお申し込みください。

※区立小中学生以外の方は
お問い合わせください。



【問合せ】 青少年課 青少年係〔電話 5984-4691〕



出前教育委員会を実施しています

教育委員会の役割や仕組みについて理解を深め、より身近に感じていただくために、教育委員が区立学校に出向いて会議を開く出前教育委員会を実施しています。

今年度は、上石神井小学校（5月）、練馬第二小学校（7月）、光が丘第二中学校（10月）の3校で行いました。

学校で出前教育委員会を行う際には、教育委員が児童・生徒や保護者の方々から直接、意見や要望をお聞きする意見交換会も併せて実施しています。

練馬第二小学校では保護者の代表の方々と、上石神井小学校と光が丘第二中学校では児童・生徒の代表の皆さんと意見交換会を行いました。意見交換会でいただいた質問の一部を要約してご紹介します。

＜保護者＞

質問：登下校の防犯対策について、練馬区教育委員会として考えている対策はありますか。

回答：不審者の発生等により重点的な見守りが必要な学校へ民間警備員を派遣し、児童・生徒の見守りと周辺の巡回警備を実施しています。派遣にあたっては、教育委員会事務局内に配置している警察OBである学校防犯指導員が不審者情報の分析や情報収集を行い、より効果的に警備を実施しています。また、平成26年度から平成28年度までの3か年で、全区立小学校の通学路に1校あたり5台、区内合計325台の防犯カメラの設置を進めています。設置場所の選定については、より効果的に犯罪の抑止を図れるよう、学校防犯指導員が各校通学路の現場を確認したうえで行っています。この他にも、児童通学案内を通学路に配置したり、練馬区危機管理室による安全安心パトロールカーの巡回を実施したりしています。

＜児童＞

質問：算数・国語・理科・社会など、たくさんの教科があるのに、算数だけが少人数授業なのはなぜですか。

回答：算数は得意な子と苦手な子の差が大きく、また、途中で分からなくなると、次の学習もつまづきやすい教科です。そこで、自分のペースに合った少人数のグループで学習すれば、得意な子はどんどん次の課題に取り組むことができ、苦手な子は分かるまでじっくりと取り組むことができます。このように、算数は学習を進める速さや理解の度合いに合わせてグループを分け、少人数で学習した方が、その子にあった学習を進めることができ、しっかりと学習内容を理解することができるため、少人数授業にしています。

＜生徒＞

質問：なぜ先生は異動するのですか。

回答：先生が異動する理由は、主に3つあります。第一に、多くの先生に、生徒一人一人の良さを見つけてもらうためです。第二に、いろいろな経験を積んだ先生に来ていただくことで、より活き活きとした学校にしていくためです。第三に、ベテランの先生や若い先生、男性、女性の先生が、偏りなくいる学校とするためです。いろいろな先生とふれ合う中で、充実した学校生活を送ってほしいと思います。



意見交換会の様子（光が丘第二中学校）



教育委員も一緒に給食をいただきました（練馬第二小学校）

※ 意見交換会の概要はホームページに掲載しています。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/kyoikuiinkai/ikenkoukankai.html>

【問合せ】教育総務課 庶務係〔電話 5984-5609〕

教育委員会の動き（平成28年10月～12月）

平成28年10月から12月までの教育委員会は、定例会6回を開催しました。

主な議案、協議等は以下のとおりです。詳細については、教育委員会ホームページまたは【問合せ】にてご確認ください。

【議案】 ・平成28年度練馬区教育委員会の点検・評価に関する有識者について（他3件）

【協議】 ・平成28年度教育に関する事務の管理等に係る点検・評価について
 ・光が丘第四中学校の適正配置について

【視察】 ・練馬区中学校連合音楽会 ・光が丘第二中学校における授業 ・田柄第二小ねりっこクラブ

～教育委員会は傍聴できます～

教育委員会では、教育行政全般について、審議・決定しています。開催日、議題およびこれまでに開催した会議の内容については、教育委員会ホームページに掲載しています。会議はどなたでも傍聴できます。傍聴を希望する方は、開催場所を確認の上、開催当日に手続をしてください。なお、傍聴の受付は会議開始時刻の30分前から始め、傍聴者が18名に達した時点（原則として先着順）で締め切らせていただきます。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/kyoikuiinkai/index.html>

【問合せ】教育総務課 庶務係〔電話 5984-5609〕

新しい年を迎えて ～教育委員会からのごあいさつ～



練馬区政70周年

教育長 河口 浩



今年、練馬区が板橋区から独立して70年の記念すべき年です。実は練馬区が誕生した昭和22年は、新制中学校が開校した年でもあります。練馬区では13の新制中学校（現存は12校）ができました。それらの中学校も今年70周年を迎えます。各地域で周年行事が執り行われることでしょう。今年、70年の歴史に思いを馳せるとともに、未来に向けた新しい学校のすがたを考える年にしたいと思います。



4年目の 新年を迎えて

委員 安藏 誠市

早いもので就任してから3年、教科書採択をはじめ、行政改革により教育委員会の体制も変わり、総合教育会議も2年目になりました。学校は、2学期制から3学期制になり、中学校の学校選択制度も再考する等、色々な取組をして参りました。本年度は任期最後の1年になりました。いじめによる悲惨なニュースが後を絶たない現在、練馬区から一人の犠牲者も出さない、子供たちの持つ夢や希望を叶えられる教育環境作りに努めて参りたいと思います。



思いを聴いて

委員 外松 和子

新たな学期制での新年はいかがでしたか。練馬区ではどの子も健やかに育つよう「教育・子育て大綱」に基づき、支援の充実が図られています。ぜひ活かして頂けたらと思います。

子供たちが互いの人格・差異を認め合い、協力して集団生活を送っていくことができるよう更に教育を豊かにさせて参ります。よろしくお願いたします。



教育環境の充実を

委員 長島 良介

昨年も様々な機会が多く、小学校、中学校に足を運ばせて頂きました。そしてお世辞ではなく改めて練馬区の子供たちの素晴らしさや、教職員の先生方の日々の研鑽と努力に触れることができました。反面、それは各校における様々な環境の違いも強く感じる機会にもなりました。教育委員として、このような差を無くし、子供たちが等しく優れた教育が受けられるような環境づくりに貢献できれば幸いです。



子供の育成は みんなで参加を

委員 坂口 節子

子供は未来に向かって、あらゆる可能性を広げながら、心を育み、人格を磨き、やがて自立の時を迎えます。学校教育に求められるものが多様になっている今、更に確実なものとするには、すべての大人たちが、子育てに関わるのだと思います。子供たちへの励ましの温かい一声や、危険から守る時には厳しい叱責も、分別のある大人たちの関わりは大切な社会資源であり、活力を生み出すものと信じ、力を尽くして参ります。